

2024年6月

第165号

ぱれっと



熊本日本ベストサポート

TEL. 018-883-1888

「いただきます」 秋田魁新報「内館牧子の明日も花まるっ！」より

元 NHK アナウンサーの村上信夫さんが、コラムに書かれていた(3月22日付読売新聞夕刊)。熊本県の学校に、保護者が電話して来たという。給食の時に子供たちに「いただきます」と言わせるなど。なぜなら「給食費を払ってるんだから」。

また、別の学校では「いただきますは宗教行事みたいだからやめてほしい」と保護者から電話があった。教師も認めたが、言わないと一齐に食べられない。そこで笛を吹くことにしたそう。私は「笛!？」と噴き出したが、村上さんは「いただきますは、給食開始の合図と捉えていたのか、と情けなくなる」と書かれている。

私が東京都の教育委員を務めたのは、平成14年から26年までだが、その頃すでに、熊本と同じクレームがあることは、耳にしていた。私は教育委員の任期中、何度か公立小学校の「出前授業」を参観した。これは全国の大人たちが来て、自分の仕事について語る。多くの場合、その仕事に関する具体的なものを持って来て、見せて語る。

ある時、私は都心の小学校で、「マグロ解体」の授業を見せてもらった。東北から漁師が二人、大きなマグロを運び込む。児童たちから歓声があがる。漁師は、マグロが体のどこを使って呼吸し、泳ぎ、エサを食べるかなどを話す。お母さんマグロや海の仲間たちのこともだ。

説明が終わると、漁師はノコギリや包丁でマグロを解体する。児童たちが静まり返る。解体が進むにつれ、涙ぐむ児童もいる。女性教師が言った。「この後、これを料理して、皆さんの給食に出しますからね」。解体されたマグロは給食室に運ばれ、教師は「食物連鎖」について説明した。「食物の世界はピラミッド型になっていて、弱い者が強い者に食べられるんです。食べた強い者はもっと強い者に食べられる。それをさらに強い者が食べ、てっぺんは人間なのね。逆に一番弱い底辺は植物ね。自分では動けないから、食べられるままよね」。漁師たちも言った。「元気で跳ね回る魚が捕れるのは、本当に嬉しい。だけど、人間はそれを食べて生きている。牛や豚などの肉にしてもです。人間はそれらの命をもらって生きていると思うと、ありがたい。無駄にできないとわかりますよね。野菜も魚も牛や豚も、皆さんを生かせるならと、喜んで食卓にのぼっているはずですよ」また泣いている子が何人もいた。

給食の時間には、先ほどのマグロがおいしいステーキになって登場した。確か野菜も添えられていたと思う。教師は優しく言った。「私たちが『いただきます』と言うのは、命をくれた生き物への感謝の言葉なんです。それを育てたり獲ったりしてくれた人たちへもね」私も一緒に給食の席で、児童たちは手を合わせ「いただきます」と「ごちそうさまでした」と声をあげた。教師は後で漁師たちに「いつもより声が大きくて、いい授業をありがとうございました」と頭を下げた。

あの子たちはもう20代になっているが、きっと「いただきます」の意味を忘れないだろう。自分の子供にも伝えるだろう。村上さんはコラムで「いただきます」は「みなさんの命を私の命にさせていただきます」という意味だと書く。「お金を払っているから」という大人にも、食物連鎖の授業が必要だ。また、合掌が仏教由来のものであったとしても、自分の命を提供してくれた者への、深い感謝の表現である。



菜根譚

(中国古典の知恵に学ぶ)

困難に直面しても平然としている

人格を高めたいければ、以下にあげる四つの心がけが必要である。

- 1、苦境に陥っても、困難に直面しても、何事もないかのように平然と構えていること。
- 2、酒の席では、羽目をはずすことなく言動を慎むこと。
- 3、権力者と出会っても、媚びたりせず毅然とした態度をとること。
- 4、貧しく身寄りのない人に同情し、いたわりの気持ちを持って接すること。

(前集 220)

富や名誉の誘惑に負けない

人格に磨きをかけたいと思えば、富や名誉におぼれない無欲な心が必要だ。というのも、一度でもそれに憧れたり、その誘惑に負けたりしてしまうと、たちまち欲望にとりつかれてしまうからだ。

また、政治家を志し、国のため、国民のために力を尽くしたいと思うのであれば、何ものにもとらわれない自由な心が必要だ。

というのも、一度でも富や名誉に執着してしまうと、たちまちその欲望の虜となってしまい、政治家として大切な志や信念を曲げてしまうことになるからである。

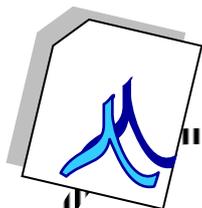
(前集 46)

人の言いなりにならない

相手がお金やモノをエサに折れるよう迫ってきても、思いやりの心でそれに対し、決して屈しない。また、相手が地位や権力をエサに屈服を迫ってきても、人としての正しい道を守り通す。

たとえ相手が自分より地位が上の人間であっても、自分の意志や覚悟に反することであれば、決して言いなりにならない。こうした強い信念や志を持っていれば、何を恐れることがあるだろうか。最後には、きっと天も味方をしてくれるはずだ。

(前集 42)



ロベルト・シューマン (ドイツ・ロマン派を代表する作曲家)

- 1810年6月8日 プロイセン王国のツヴィッカウで書籍販売を営むアウグスト・シューマン・妻ヨハンナの子として生まれる。
- 1817年(7歳) ヨハン・ケンチュのもとでピアノの勉強を始める。
- 1828年(18歳) ライプツィヒ大学法科に入学。フリードリヒ・ヴィークのもとでピアノを学ぶ。
- 1830年(20歳) フランクフルトでパガニーニの演奏を聴き、音楽家になることを決意する。聖トーマス教会カントールのヴァインリヒに音楽理論を学ぶ。
- 1832年(22歳) 指を痛めて作曲家へ転向することを決意する。
- 1834年(24歳) 音楽雑誌「新音楽時報」を創刊。
- 1835年(25歳) ベルリオズの「幻想交響曲」についての評論を「新音楽時報」に寄稿。
- 1840年(30歳) 「歌曲の年」2月、イエーナ大学より哲学博士の称号を授与される。
- 1843年(33歳) ライプツィヒ音楽院教授となる。
- 1847年(37歳) 故郷ツヴィッカウでシューマン音楽祭開催される。リーダーターフェルの指揮者となる。混声合唱団創設。
- 1850年(40歳) 「楽園とペリ」が上演され成功を収める。デュッセルドルフ市音楽監督の職受諾。バッハ協会設立に尽力。
- 1853年(43歳) 低ライン音楽祭で交響曲第4番が演奏され大成功。ブラームスと出会い「新音楽時報」に「新しい道」を寄稿。
- 1856年7月29日 1954年幻聴など精神病悪化、投身自殺を図ったりし、療養所に収容され46才で他界した。

おすすめの BOOK



「1日10分のときめき」

作者 石田衣良・川上未映子・森浩美など8名 出版社 双葉文庫

本書は1日10分シリーズの短編小説集。NHK 国際放送が選んだ日本の名作集だ。「1日10分のしあわせ」「1日10分のごほうび」「1日10分のぜいたく」などの姉妹文庫本がある。いずれも8名の作者の文庫本である。

短編集をまとめたものなので、ほぼ10分間でひとつの物語を読み終えることができる。手軽に手に取って楽しめる文庫本として推奨したい。

くらしと保険のおはなし



定額減税

賃金上昇が物価高に追い付いていない国民の負担軽減を目的に、一定要件のもと所得税と住民税から1人当たり合計4万円の減税を行う「定額減税」が6月から始まります。

◇対象者

①居住者※1

②合計所得金額※2が1,805万円以下※3

※1 国内に住所を有する個人または現在まで引き続いて1年以上居所を有する個人

※2 所得税は令和6年分、個人住民税は令和5年分の合計所得金額をもとに定額減税対象を判定

※3 給与収入のみの場合。年収2,000万円以下

子ども・特別障害者等を有する者等の所得金額調整控除の適用を受ける方は、2,015万円以下

◇減税額

減税額は以下の表のとおりです。令和6年分の所得税と個人住民税を対象に、減税が実施されます。

税目	種別	減税額
所得税	本人※1	3万円
	同一生計配偶者※1※4	3万円
	扶養親族※1	3万円/人
個人住民税 (所得割)	本人※1	1万円
	控除対象配偶者※2※5	1万円
	扶養親族※2	1万円/人
	控除対象配偶者を除く同一生計配偶者※2	1万円※3

※1 居住者に限る

※2 国外居住者を除く

※3 令和7年度分の所得割の額から控除

※4 「同一生計配偶者」=納税義務者と生計を一、かつ、合計所得金額48万円以下

※5 「控除対象配偶者」=同一生計配偶者のうち、納税者の前年の所得金額が1,000万円以下

【編集後記】

このぱれっとの最初のページは、その発行時期に話題となっている政治・経済・スポーツなどを取り上げて作成してきた。今回は新聞記事で「ぱれっと」を講読されている人たちへぜひ伝えておきたいと「内館牧子」さんのエッセイを掲載させていただいた。感謝の気持ちと呼び起こす内容だ。

この記事とは別に最近秋田県内で熊の出没が大きな話題となり熊が人に危害を与えている。由々しいことだ。動物愛護を否定するものではないが人里へ出没し人命が危険にさらされるようになると話は別だ。なんとか対策を立て人命被害を食い止めていただきたい。